

製品名: ITPA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85710**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 21 kDa; Observed MW: 21 kDa

抗原情報

遺伝子名	ITPA
別名	My049; ITPase; NTPase; C20orf37; dJ794I6.3; HLC14-06-P
遺伝子 ID	3704.0
SwissProt ID	Q9BY32
免疫原	ヒトイノシン三リン酸ピロホスファターゼの合成ペプチド

背景

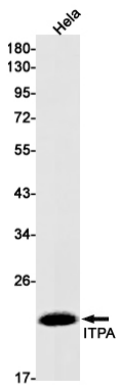
非標準的なプリンヌクレオチドであるイノシン三リン酸 (ITP)、デオキシイノシン三リン酸 (dITP)、2'-デオキシ-N-6-ヒドロキシ

アミノプリン三リン酸 (dHAPTP) 、およびキサントシン 5'-三リン酸 (XTP) を、それぞれのーリン酸誘導体に加水分解するピロホスファターゼ。この酵素はデオキシ型とリボース型の区別をしません。おそらく、RNA および DNA 前駆体プールから非標準的なプリンを排除することで、RNA および DNA への取り込みを防ぎ、染色体損傷を回避していると考えられます。

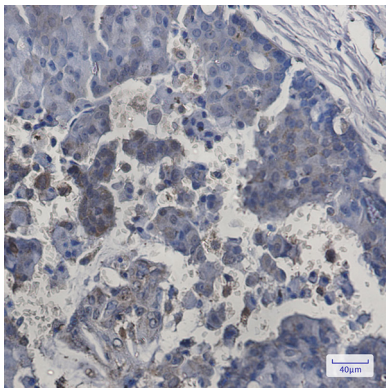
研究分野

-

画像データ



ITPA 抗体を使用した HeLa 溶解物中の ITPA のウェスタン ブロット分析。



イノシン三リン酸ピロホスファターゼ抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。